



マルチメディア社会の到来に向けて

計測器事業本部計測器事業部長

杉本 栄次



当社では、創業100周年を迎えた1995年以降、“Your Global Partner for the 21st Century : Globalの顧客にGlobalの技術でGlobalの企業に”をキャッチフレーズとして、それらを実現するための企業活動を積極的に展開しております。

また、本誌74号(Oct.1997)、“まえがき”記事にて、ご紹介いたしましたが、当社は昨年10月1日から、米国現地法人をAnritsu Company、英国現地法人をAnritsu Limitedに改称するなど、現地法人をすべて“Anritsu”の名前に統一し、全世界のお客様に高品質で革新的な技術を用いた製品とサービスの提供を開始しております。お蔭様で、“Anritsu”の知名度は着実に増大しつつあり、全世界のお客様との商談を通じて、“Anritsu”に対する期待の大きさとこれらの期待に応えるためには、“マルチメディア社会の到来を支える新測定器群”を積極的に開発し、提供し続けることが最大の使命であると実感している今日この頃です。

ご存じの通り、SDH / ATMによる国際標準デジタル通信網の構築、インターネットの大容量化、デジタル移動通信およびデジタル放送の国際標準化の検討開始に端を発し、極めて困難と思われていた“通信と放送の融合”が世界各国で加速し、“マルチメディア社会”が徐々に現実味を帯びようになっています。当社の各ビジネスユニットにおいても、全地球規模で使用されるマルチメディア社会の実現に貢献できる新製品開発が必須になっています。

幸いにも、計測器事業部では、すでに、(1)デジタル通信分野では、超高速符号誤り率測定器に加え、1989年以降、ASPA (ATM / SDH / PDH AnalyzerまたはATM / SONET / PDH Analyzer) ファミリーを開発し、世界各国において、新同期網 (SDHまたはSONET) 用伝送装置、デバイスの生産、新同期伝送路網の建設などに使用されています。また、光アクセスシステムおよび各種デジタルデバイスの試験に使用できる200MHz × 16ch デジタルデータアナライザを開発し、デジタル半導体試験器の分野にまったく新しいコンセプトの測定器を提供しております。

(2)光通信分野では、ミニOTDR、波長可変光源、光スペクトラムアナライザなどに加え、本年から、新たに光テストセットおよびWDM ネットワークテスタなどの新製品を提供し、お蔭様で、“光のアンリツ”再生へのスタートを切ることができました。

(3)移動通信を含むRF/マイクロ/ミリ波帯分野では、信号発生器、シンセサイザ、スペクトラムアナライザ、ネットワークアナライザ、パワーメータ、カウンタなどの汎用測定器、各種のデジタル移動通信方式に対応できるデジタル信号発生器、デジタル移動無線送信機テスタ、シグナリングテスタ、一体型無線機テスタ、サイトマスタなどを開発し、提供して参りました。最近ではデジタル移動通信方式の世界標準の一候補として最も注目されているWideband CDMA用測定器群の開発を積極的に進めております。また、顧客満足 (Customer Satisfaction : CS) を重視する当社の経営方針に則り、本年4月に営業部門内に新設した、計測システム市場開発部の積極的な顧客対応活動を通じて、RFTS (Remote Fiber Test System) に代表されるネットワーク監視システムや高周波デバイス用テストシステム、EDFAテストシステムなどに代表される製造ラインにおける試験システムの優秀さが認知されて参りました。当社の計測システム製品は、来るべくマルチメディア社会のインフラ構築に欠かすことができないファイバーネットワーク、ワイヤレスネットワークおよびそれらを構築するネットワークエレメントなどの試験システムとして、全世界のお客様にご愛顧を頂くべく努力して参ります。

営業、マーケティング、開発、製造およびサービスの全分野において、全世界のお客様により強く密着し、すなわち、“A global company with a local face”により、お客様に満足して頂ける製品やサービスをタイムリー (Time to The Market) に提供し、“マルチメディア社会の到来”に向けて鋭意努力いたしますので、今後とも温かいご支援とご教示を心からお願い申し上げます。